

頸動脈ステント留置術(ツキ部穿刺)

入院診療計画書

病棟 (病室)

疾患名

診断群分類

主治医  
看護師  
薬剤師  
栄養士

ID:

氏名:

	1月1日	1月2日		1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	1月12日	
	入院日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日	術後2日	術後3日	術後4日	術後5日	術後6日	術後7日	術後8日	術後9日	術後10日
目標	□疾患を理解し、不安なく手術を受けられる □手術の必要性について理解できる		□術後合併症の兆候がない		□合併症を起こさず退院できる □退院後の生活が理解できる									
内服 点滴	現在内服中の薬については指示に従って下さい 		指示のある時は、手術前に飲む薬があります 点滴開始 		食事開始後、薬を飲みます		点滴終了							
検査 処置	必要な場合、手術部位の除毛をします		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な場合、手術部に医療器具を留置します</li> <li>医療器具を抜いた場所を圧迫します</li> <li>CT検査をします 検査終了4時間後に圧迫をはずし、カットパンを貼ります</li> </ul> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部の消毒をします</li> <li>採血があります </li> <li>MRI検査をします</li> </ul>		カットパンを取ります		頸部エコー検査をします					
食事	必要に応じて栄養士の訪問があります		指定時間まで飲水できます 		検査終了後は食事ができます 									
安静 リハビリ			頭の角度30度まで上げれます ただし、検査をした方の足は曲げれません 検査終了4時間後から座れます		医師が止血を確認した後は歩くことができます ※しゃがまないでください									
排泄			手術室で尿の管が入ります		尿の管を抜いた後はトイレ歩行可能となります(※和式トイレは行けません)									
清潔			体を拭きます 		体を拭きます 		入浴できます							
説明 指導	入院・手術についての説明があります				医師より結果説明をします  総合評価 □あり □なし				医師より病状を説明します  退院日を決定します		退院指導・服薬指導があります 			
症状							特別な栄養管理の必要性		□あり □なし		日常生活能力		□問題なし □介助が必要な状態です	
本人・家族の要望											認知機能		□問題なし □不安定な部分があります	
看護計画等											気分・心理状態		□問題なし □不安定な部分があります	

本人氏名

親族または代理人氏名

続柄:

説明日

西暦 年 月 日

主治医  
氏名